



# 特集

☆☆☆☆☆☆☆☆ 祝 辞 ☆☆☆☆☆☆☆☆

川崎天文同好会 渋谷誠一郎

まずは、川越天文同好会の皆様、40周年おめでとうございます。  
創立1983年ということは、ハレー彗星が太陽に近づいた、あの大騒ぎの少し前に発会されたというわけですね。

そういえば、今年はハレー彗星の遠日点通過。また太陽に向けて戻って来る道中に変わったわけで、なんとも月日の経つのは早いものです。  
貴会と私ども川崎天文同好会は、略称が同じ「川天」というだけでなく、なんとも浅からぬ縁があるようです。

若き日の谷川会長さんが、川崎の箕輪天体観測所に入りに出たり、どこかの天文イベントで偶然の邂逅をしたり、海外での皆既日食の観測地に出くわしたりと、限りがありません。

まあ、世間は狭いというか、好き者が出没する場所が限られているということかもしれません。

趣味のサークルというものの、とくに天文同好会のようなものは、長い年月の間、健全な運営をしていくというのはなかなか難しいもので、体育系サークルのようにはいきません。

また、他の会を見習おうにも、会の置かれた環境や会員数、構成年齢、方向性などが異なっており、すべてを参考にすることは不可能です。

それぞれの会がオリジナリティを発揮しつつも、他の会の「使えるアイデアは使わせていただく」とまあ、このあたりが、これからもずっと続けていくコツのひとつのように思います。

というわけで、今後とも川越の皆さんとは、長くお付き合いをさせていただき、よきアイデアは大いに使わせていただくつもりです。

実は、私ども川崎天文同好会も今年は70周年。これからも両会、楽しく交流していきましょう。

こまがわファミリー天文クラブ代表 大澤英広

川越天文同好会の創設40周年、誠におめでとうございます。

貴会には、日頃から隣接する日高市拠点のこまがわファミリー天文クラブ主催「親子天体観測会」等へのご協力を心より御礼申し上げます。

こまがわファミリー天文クラブは、2009年世界天文年に誕生した、埼玉県日高市教育委員会直属の高麗川公民館サークルです。

小学生を対象とした夏休み子ども公民館「親子天体観察会」や日食、月食時の観察会、秋の高麗川公民館文化祭への参加を主な活動としています。

さて、貴会がこれまで長く天文普及、教育活動を軸に社会貢献、環境改善に取り組んだ実績は、私達の地域社会にとってかけがえのない財産となっています。

天文を通して子供達に夢と希望と感動を心に残し、彼らが大人になった時に、きっとその活動の意味を知ることになるでしょう。

今後も貴会の活動に協力していくと共に、地域の子どもたちが天体観測等を通じて、地球を愛し、人々を幸福にできる人を一緒に育てていきたいと思っております。

最後に、貴会の益々のご発展とご活躍を祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。

以下、この機会に高麗川ファミリー天文クラブの活動の一環として実施されている活動の一コマを紹介します。

天体望遠鏡で観察



手作り天体望遠鏡講習



観察会ガイダンス・天体学習



追記) ここにご登場頂いた天文関係の団体は本会の長年の友好団体で日頃お世話になる事も多く、この場を借りて御礼申し上げます。

また、近在の埼玉県内の天文同好会では上尾天文同好会、ブラックホール天文同好会、巾着田天文同好会、飯能天文同好会、光映舎/コスモスの皆様に感謝申し上げます。

# 特集

★★★☆☆☆☆☆☆ 川・天 40 年の歩み ★★★☆☆☆☆☆☆

※天文同好会の日誌と、世界の話は主に読売新聞の記事から拾いました。  
 ※『川越天文同好会 30 周年記念誌』平成 25 年（2013 年）5 月刊からの続きとなります。  
 ※特に【 】で記述しない限り、内容は例会の記録となります。

敬称略 収録 谷川 政敏

開催年月日	主な記録	天文学宇宙の話題
平成 25 年 (2013) 5 月 26 日 (日) 中央公民館・講習 2 号	30 周年記念行事の予定立案。写真展示とポスター。 「星のソムリエ」の参加報告 (谷川)、星検受験報告 (山内)、観測会 (乙女高原) の報告 (谷川)、最近の太陽 ( $H\alpha$ ) 報告 (谷川)、ISON 彗星対策、観望会予定 (8/3~4 中央公民館)	5/25・パール富士の撮影。 5/56・アノニマスによる自治体ロケット関連情報流失。
6 月 8~9 日 (日) 八方ヶ原大間々台 【観測会】	パンスターズ彗星・レモン彗星の観測、人工衛星多数、ISS 見る。46 cm ドブソニアンで観望 (北川氏所有)	6/20・JAXA「こうのとりのとり 4 号機公開。
6 月 23 日 (日) 中央公民館・講習 2 号	冷却 CCD キャンプ報告 (中島)、AstroGPV (新井氏) いーぐるさん宅訪問 (川崎)、大間々台スナック、富士見高原報告 (持田)、ISS 撮影報告 (谷川)	6/29・ボイジャー1号太陽圏外へ。7/17・イトカワの微粒子公開 (科博)
7 月 20 日 (日) 中央公民館・講習 2 号	望遠鏡の使い方講習 (対象者浅井 S38 年製) 3 周年講演会計画 (記念文提出 9 枚、写真 A4×24 枚・会場はクラッセ川越大ホール (開催 12/21 土))	NASA 次世代 ISS 往還宇宙船 CST100 公開。
8 月 3 日 (土) 中央公民館 【観望会】	「夏休みわくわく探検隊」太陽観察、副教材 (投影) で学習。雲量 50% だったが何とか見えた。参加 15 名。	
8 月 10 日 (土) 日高市高萩公民館・高萩小グラウンド 【観望会】	「親子星空観察会」金星・木星・土星が人気。低空薄雲。参加親子 50 名。カサイ GS-200RC 購入 (持田)	8/5・H2B にてこうのとりの打ち上げ成功。8/14・板垣さん新星発見。8/28・イプシロン発射中止。
9 月 22 日 (日) 中央公民館・講座 室	カサイ・Φ200F8 入手 (持田) 花立山天文台で観測 (安田)。HP 会報の公開、入会 18 歳以上とする。弔辞を会員限定で行う (香典 5000 円)。→3 案を総会で決議へ。観望会開催を原則 30 km 圏内とする。	9/14・イプシロン打ち上げ成功。9/19・民間機シグナス打ち上げ成功。
10 月 26 日 (土) 中央公民館・講習 2 号	FSQ106 で月・M31 他撮影福島 (持田)。アイソン彗星に絞った観測会やらず。放射能の局在あり (見学森山) ビクセンΦ100FL1000 の修理完了 (浅井)	アイソン彗星向けと称する観測機材多数販売。
10 月 27 日 (日) 中央公民館・障がい者学級	上野動物園見学 (当番役員谷川) 参加 32 名。	
11 月 9 日 (土) 富士見市南畑小 【観望会】	雲～雨となり中止、副教材の投影と望遠鏡の説明。80 名参加	11/7・若田さんオリンピックトーチと宇宙へ。11/15・アイソン彗星輝き増す。
11 月 24 日 (日) 中央公民館・講座 室	30 周年講演会リハーサル。画像処理講習 (中島) スマホアダプタお披露目 (持田) JAXA 角田見学報告 (山内)	11/28・アイソン彗星消滅。(一部生き残りか? NASA)
12 月 21 日 (土)	川越天文同好会の 30 年を振り返る。(谷川) 天体写	火星移住候補 1058 名、日

クラッセ川越・30周年記念講演会	真展示（齋藤裕志他）講演（星の村天文台台長大野裕明氏）参加19名、慰労会（庄や）	本人10名。ラブジョイ彗星目立つ。
平成26年（2014） 1月11日（土） ふじみ野市西原小 【観望会】	ふじみ野市教育委員会主催、薄雲あったが月・木星・流星・星雲団を見る。ガイドランスと講義は体育館で。291名（募集100名）の参加。	
1月18日（土） 庄や・【新年会】	昨年の30周年記念行事で盛り上がる。DVD記念誌の検討。	1/22・NASAケレスからの水蒸気放出を発表。
2月8日（土）延期9日（日） 伊勢原公民館 【観望会】	積雪が20cmあったが開催。親子で参加33名	JAXAミサイル熱検知に着手。イトカワ微粒子とロシア隕石、アポロ17号の月の石展示・横浜はまぎん。
2月16日（日） 中央公民館・講座室	30周年記念行事DVD記念誌の配布・発表（谷川）画像処理勉強会・タイムラプス編SiriusComp、キクチマジック（中島）	ISSの被爆を減らす新技術の記事。
3月6日（日） 中央公民館・和室 【総会・例会】	役員全役員留任。Wi-Fi各人のパソコンに接続（中島）、画像処理勉強会HDR処理・PhotoshopElements7.0で画像処理・切り貼り（モザイク合成）（谷川）	4/16・月出帯食、3/4・インシュタインの直筆原稿寄贈。
4月19日（土） 中央公民館・講習1号	『小江戸の星』No.70発行、川天一川・天交歓会計画、星雲コンポジット（浅井）	4/18・東大ガブリ研超新星の明るさが30倍明るいと重力レンズ効果で検証。
5月3日（土）～4日（日） 大間々台・学校平 【観測会】	強風の為、学校平に移動して観測。	5/14・若田さん帰還。露ISS協力6/1で終了発表。
7月26日（土）～27日（日） 県民の森 【観測会】	まずまずの透明度・イリジウムフレア・ジャック彗星・流星・衛星多数目撃。飯能天文同好会・ブラックホール天文同好会他多数集合、車約20台	5/25・だいち2号打ち上げ。スペースX社ドラゴンV2改良し7人乗りに。
8月10日（日） 中央公民館・講座室	観測会報告（谷川）、市内（石田）で星雲団撮影（浅井）、狭山で撮影夏の大三角（片多）、ナローバンドFで星雲団撮影、（中島）画像処理勉強会（行木）	8/20・若田さん帰還パレード。8/23・国立天文台巨大太陽（100倍）の痕跡を発見発表。
8月24日（日） 中央公民館 【観望会】	『わくわく探検隊』天候悪く黒点のみ観察、副教材で学習・参加者16名。	
9月6日（日） 中央公民館・講習1号	『小江戸の星』No.71発行。UFOキャプチャー実演（関口）。自動導入セット配布受付（中島）	9/1・はやぶさ2打上12月を発表。野口飛行士宇宙探検家協会会長に。向井飛行士教育再生会議新委員に。
9月28日（日） 中央公民館・きずな祭	役員当番で参加（谷川）焼きそば係。	9/17・シャトル機2種類決定。9/22・スペースX社3DプリンタをISSで活用案。
10月5日（日） 中央公民館・講座室	大間々台で星雲団コンポジット（齋藤裕志）。レーザポイントの望遠鏡取り付け（片多）。大垂水・浄土平行き報告（持田）天体望遠鏡博物館に相原記念望遠鏡寄贈（谷川）。今後の日程調整5件。	10/8・ひまわり8号打ち上げ。10/8・皆既月食。
10月11日（土）～13日（月）	大間々台での写真披露星雲団PsElementsで（齋藤裕志）。放射線量0.125μ/sv。	

星の村 SLF 参加 【観測会】		
11月9日(日) 中央公民館・講座 室	SLF 参加報告(齋藤 裕志・谷川)、大間々台行き報告(中島)、IC434 他の撮影(持田)、らせん星雲・カリフォルニア星雲撮影(浅井)、H $\alpha$ 太陽・月食撮影・MURAMASA 購入(山内)、ドブ設置(谷川)	11/1・民間宇宙船スペースシップ2 墜落、11/7・ALMA 惑星誕生の現場を公表。
12月7日(日) 中央公民館・講座 室	不用品交換会(約100点の出品・半数以上売れる)、観測会報告(県民の森、乙女高原)	11/13・ESA 探査機ロゼッタ・チェリモフゲラシメンコ彗星に着地。11/20・肉眼黒点出現。12/4・はやぶさ2 打ち上げ。
平成27年(2015) 1月24日(土) 富士見市南畑公民 館・小学校 【観望会】	ラブジョイ彗星が天頂に見えた。月・金星・すばる・人工衛星2機見える。参加者24名	2/5・NASA ニューホライズンズ冥王星とカロン撮影。1/6・スペースX社台船上にロケット回収。
1月31日(日) 新年会・庄や	参加8名	1/16・JAXA 熱帯降雨観測衛星を引退へ。
2月8日(日) 中央公民館・ 講習室1号	M45 県民の森で撮影プリント・笠井20cm銀次(片多)。中間平と星の里でラブジョイ彗星とまが玉星雲撮影処理「スパイダープロ4」(浅井)	2/7・JAXA あかつき12月に再挑戦発表。
2月28日(土) ふじみ野市・さぎ の森小 【観望会】	薄雲が取れなかったが、月・金星・木星・星雲団・シリウス等を見る。40名参加(保護者約100名)	ラブジョイ彗星明るさ増す。2/19・板垣氏発見の新星がリチウムに富むと判明。
3月8日(日) 中央公民館・講座 室 【総会・例会】	役員新任委嘱・山内氏退任(以後会報係に谷川)川・天一川天交流会の実施。連絡不通者の扱い=1年で通知他無し、2年で強制退会。「写真測光による変光星の観測」高橋氏の放送大学卒業論文紹介。	2/17・オランダのマーズワン財団・火星移住者名簿に日本人島袋悦子氏選任。
4月5日(日) 中央公民館・第一 集会室	光学部品の清掃方法(谷川)、FSQの同架で3台同軸・ハッ場ダムは麓明るい(中島)、ムービー使用の報告・Nikon7×50 オーバーホール2.2万円(齋藤 裕志)、花立山星まつり参加(持田)	3/12・カッシーニ・エンセラドスに熱水推測。3/28・米露飛行士ISS到着。4/3・4次元デジタルシアター新
4/18(土)~19(日) 星の村天文台・ メシエマラソン 【観測会】	松井(双眼鏡)行木(自動導入)谷川(眼視導入)部門で優勝。秩父高原牧場で観測(齋藤篤)。	4/14・火星に塩水か? NASA 欧チーム。キュリオシティで発見。3月に国内でオーロラ観測(陸別町)
5月10日(日) 中央公民館・講習 室1号	スタックの土星(齋藤 裕志)、 $\Phi$ 60 屈折で月・土星(浅井)、イラスト(浅井)、スタックした土星(齋藤 裕志)ドブによる月面(谷川)、光軸調整解説・講習反射・カタディオプトリック系(谷川)、屈折(中島)	4/20・月面着陸3年後目指す。4/28・はやぶさ2 軌道修正成功。
6月7日(日) 中央公民館・講座 室	『小江戸の星』No.72 発行、IAU に会名登録・彗星会議参加報告(谷川)、光軸調整要領講習2(谷川)、SEO カメラでフラット補正(持田)	
7月5日(日) 中央公民館・講座 室	観測会候補地選定・乙女高原・金峰山荘・ダム湖M83・金木接近撮影(浅井)、M13×2枚(片多)、H $\alpha$ 太陽(山内)、光学系の洗浄液配布(谷川)	千葉工業大ISSの流星監視カメラメテオ再度打ち上げ。6/24・油井さん7/23の



		ソユーズで宇宙へ。
8月2日(日) 中央公民館・講座室	北米星雲・出目金・猫の手銀河(浅井)、銀河・衛星のタイムラプス撮影(谷川)、木星他のタイムラプス処理・スタック AVI(中島) 冥王星報告(山内)	7/14・冥王星にニューホライゾン接近。名古屋大・京大、巨大磁気嵐の予報。
8月9日(日) 中央公民館・講座室・グラウンド 【観望会】	わくわく探検隊(太陽を見よう)、眼視1(齋藤)・H $\alpha$ (大塚)・投影(齋藤)・眼視2無メッキ太陽望遠鏡(谷川)・景色(森山) 雲量50%だがすべて見えた。ガイダンス(谷川)、35名参加。	7/23・油井さんソユーズでISSへ。ブラックホールの質量計測(ALMA)、ケプラー地球型惑星発見。
8月14日(土)～16日(日) 【観測会】	金峰山荘にて、ペルセウス群流星多数・衛星多数、観測地3カ所良好。	8/16・NASA月の裏側画像公開。8/19・H2Bでこのとり5号機打ち上げ。
9月12日～13日(日) 【観測会】	佐久間ダム、観測者多数で場所の集合の苦情出る。女性の声が響いて近所から苦情が出たらしい。FBに書き込みあり非難の声。谷川心筋梗塞で入院。	9/11・ニューホライゾンの冥王星画像。9/26スーパームーン。9/18・油井さんミニ衛星放出。
9月20日(日) 中央公民館・講座室	佐久間ダムの件の緊急対策会議・誹謗中傷の可能性が高い。乙女高原の報告(浅井)、米国シアトルの銀河(片多)、次回観測会は玉原。	9/17・油井さんミニ衛星放出。9/29・火星表面に水発表・NASA。10/6・梶田さんノーベル賞受賞。
10月25日(日) 中央公民館・講習室1号	佐久間ダムの件まとめ、「天体観測活動の心得」発表(谷川)	ラブジョイ彗星にアルコール検出 NASA。はやぶさ2のスイングバイ近い。
11月29日(日) 中央公民館・講座室	不用品交換会、観測地まとめ発表、玉原の成果(齋藤 裕志) 銀河のモザイク合成(中島)	11/8・冥王星に巨大惑星衝突か? 惑星学会。11/25・H2A 商業衛星打ち上げ。
12月12日(土)～13日(日) 高麗・武蔵台公民館合同【観望会】	巾着田で観望会6名、別隊は玉原4名。雲が多く、辛うじてスバルを見た。玉原はスキーの雪撒きで明るい。	12/7・あかつきの軌道投入。12/12・ふたご座流星群ここ20年で最大と国立天文台発表。
12月27日(日) 中央公民館・講座室	不用品交換会、新年会案内。イメージングソースで月の動画、アビスタックスで処理(齋藤 裕志) 銀河のモザイク合成(中島)	12/22・イプシロン燃焼試験成功。12/11・油井さん帰還。
平成28年(2016) 1月24日(日) 庄や・【新年会】	参加11名	日本、火星に探査機計画発表。太陽系に第9惑星か? 宇宙服にまた水漏れ NASA
2月21日(日) 中央公民館・講習室1号	『小江戸の星』No.73発行、イラスト入り星座(浅井) H $\alpha$ 太陽、ISS(谷川)、ステラショット新版・ステラナビ9(持田)、木星好シーイング(齋藤 裕志)、「ムラマサ」H $\alpha$ 太陽・縣先生の話(山内)	2/3・如何にも遠方(134億光年)の銀河発見 NASA。2/5・銀河風撮影日本「すばる望遠鏡」。2/12・重力波検出発表(9/14に検出)
3月19日(日) 中央公民館・講座室【総会・例会】	行事報告・会計報告終了、規約改正(9月からの入会は1,000円とする。)役員改選無し。画像処理講座(中島) カノーパス撮影(谷川、井口)	2/25・高速バースト銀河を特定。3/9・部分日食。3/25・かぐら試運転開始。
4月24日(日) 中央公民館・講座室	新星景写真・タイムラプス・SI7講習(中島、浅井) PS講習(谷川)、コロナ?観測報告(中島) 宿泊遠征の明細を取りまとめ提示。(谷川他)	4/2・X線天文衛星ひとみ分解 JAXA。4/2・再利用ロケット成功アマゾン。4/30・スペースX 2018年に火星に無人機送ると発表。

5月7日(土)～8日(日)【観測会】 県民の森	黄砂多く視界不良、惑星3個、星雲団4個(ドブソニアン)、衛星2個見る。	このところ冥王星キラー惑星の捜索が盛ん。
5月22日(日) 中央公民館・講座室	HPの顔出し写真がOKとなる。ライト照射撮影注意喚起。玉原でM13撮影、APSC3000mm3枚コンポ、M27・土星・火星(齋藤裕志)。ISS撮影講習(谷川)	6/9・ケプラー系外惑星1284個発見。6/18・大阪産業大学、131億年前の酸素観測。
6月26日(日) 中央公民館・講座室	『小江戸の星』No.74発行。観測会マナーでアンケート提案(谷川)。火星・土星(齋藤裕志)。ビクセン工場見学報告(浅井)H $\alpha$ 太陽実際(谷川)	6/29・ジュノー木星軌道に投入NASA。7/7・大西さんソユーズでISSへ。
7月10日(日) 川崎・多摩市民館	川崎天文同好会と合同例会(向ヶ丘)『双眼鏡の歴史』講演(科博中島氏)	7/21・H3ロケット燃焼試験へ。
7月24日(日) 中央公民館・講座室	火星・土星銀次で撮影(片多)。M10、12、14FL400mmで撮影(浅井)。自作冷却カメラで撮影(金子)。昼間のベガ撮影・EQ6PRO設置(谷川)	7/24・太陽3個持つ惑星発見、欧州チーム。7/30・『宇宙と芸術展』森美術館開催。
8月6日(土)～7日(日) 県民の森【観測会】	ペルセウス座☆多群多数、siriusuさん忍者ドブソニアン好評。pentax 屈折望遠鏡良い像。	
8月8日(月) 中央公民館【観望会】	チャレンジ体験教室、雲多く晴れ間10分程だがプロミネンス・黒点見える。P.S.T.×2・プロント・眼視ユニット×2・投影×2	
8月12日(金)～13日(土) 中間平緑地公園【観測会】	ペルセウス座☆多群観測会、雲量10～70%で条件悪く流星数5個、星の里はNTTの工事で使えず。車の出入り延べ30台程。堂平は満車。	
8月14日(日) 中央公民館・講座室	ペルセウス座☆多群の報告。アイリス星雲・ガネットスター・アンドロメダ星雲・北アメリカ星雲(浅井)。平谷高原観望会(鈴木)インドネシア日蝕パレンバン行き(森山)	恐竜絶滅説に煤の可能性。8/29・探査機ジュノー木星最接近。8/17・宇宙ゴミに防衛省常時監視体制。
9月3日(土)～4日(日) 清里高原【合宿】	ペンションスケッチブックにて。台風12号の影響で星見えず。翌日は野辺山観測所に行く。	9/8・「クイーン」フレディ・マーキュリー小惑星命名
9月18日(日) 中央公民館・講座室	清里観測会報告(谷川)、県民の森で銀河撮影(浅井)	9/9・米版はやぶさ打ち上げ。6/27・NASAに水噴出検出。
10月16日(日) 中央公民館・講座室	女性対応協議。川越まつり中なので駐車場満杯。梶田氏と撮影・カミオカンデ見学報告・天文検定合格(山内)。Nikonの新設ショールーム見学(森山)	10/17・中国有人宇宙船打ち上げ。10/24・大西飛行士補補給船捕獲。10/30・帰還
11月12日(日) 中央公民館・講座室	『小江戸の星』No.75発行、三鷹天文台公開報告(山内・浅井)。ひので・すばるの画像DVD(持田)	11/15・大きなスーパームーン
12月3日(土) 日高市高麗公民館・巾着田【観望会】	上弦の月・金星・火星・ISS・流星-1等。	12/8・宇宙飛行士ジョングレン氏死去。12/13・
12月18日(日) 中央公民館・講習1号室	不用品交換会。天文検定1級合格で小型プラネ獲得お披露目(山内)。お台場で火星・金星、県民の森でオリオン写し(浅井)	12/9・このとり6号機ISS到着。



平成 29 年 (2017) 1 月 14 日 (土) 庄や・新年会	参加 9 名	1/6・JAXA 宇宙ゴミ除去実験へ。1/17・JAXA 小型衛星 6 個を ISS から放出。 1/17・あかつき金星に弓状模様検出。JAXA 宇宙ゴミ除去実験中止。かぐや地球の酸素月に到達観測。
2 月 4 日 (土) 日高市高萩公民館 【観望会】	良く晴れ何でも良く見えた。インフルエンザの影響で参加者減少。	1/25・JAXA 防衛通信衛星打ち上げ。2/3・小惑星に kimiyayui を命名。
2 月 18 日 (日) 中央公民館・講習室 1 号	カノーパス下見(谷川)。ニンジャ 320 購入(齋藤 裕志)。百均の RGB フィルターで撮影(持田)。	2/16・理研、惑星系の始まり観測。2/24・新型宇宙船オリオンの打ち上げ発表。
3 月 12 日 (日) 中央公民館・講習室 1 号 【総会・例会】	総会＝行事報告、会計報告、役員新規委嘱。観測会幹事選出 4 名。 例会＝曲入りスライド(浅井)。新星景(持田)。H $\alpha$ 太陽(谷川)	大英博物館展の小城隕石展示(科博)。3/18・JAXAH2 打ち上げ 27 回連続成功。 3/17・情報収集衛星打ち上げ。宇宙エレベータ構想。
4 月 9 日 (日) 中央公民館・音楽室	mail ソフトの取扱説明(谷川・中島)。ISS の手持ち撮影(谷川)。天体イラスト動画(浅井)。初心者講習「月」(齋藤 裕志)	4/13・すばる撮影の銀河ネットで公開。4/9・つがる市の隕石落下跡調査。
4 月 22 (土)～23 (日) 三峰ヘリポート P【観測会】	こと座流星群・天の川・月・金星を見る。簡易トイレ設置。	4/25・トランプ大統領火星旅行に発破。5/1・カッシーニ土星の輪の中を通過。
5 月 14 日 (日) 中央公民館・講座室	4 月観測会報告(谷川)。観測会幹事交替。9 月観測会遠征予定。妙義山 P は私有地と判明。川天一川・天交流会 7 月 9 日(日)に実施。三峰でタイムラプス星景(石山)。	5/13・インターステラ小型ロケットの燃焼試験。
6 月 11 日 (日) 中央公民館・講座室	5/21・日本スペースガード協会講演報告(谷川)。ジョンソン彗星・市街地での星雲団撮影(浅井)。木星撮影条件良しスタック(齋藤 裕志)。麦草峠・大河原高原・高峰高原で観測(金子)	6/9・ハッブル望遠鏡重力レンズ初観測。6/28・火星基地に日本が貢献構想。
7 月 9 日 (土) 中央公民館・講座室	科博・山本天文台講演報告(谷川)。合宿案策定・費用徴収完了(中島)。ZWO の EFW カメラ購入(片多)。ニコンクールピクス 900 に交換良好(谷川)	6/21・みちびきの情報精度向上案(4 機に)。7/20・中国の暗号実験衛星成功。
8 月 5 日 (土) 中央公民館・チャレンジ体験教室	チャレンジ体験教室「太陽を見よう」。台風の余波で雲勝ちだが午後は晴れた。	7/31・インターステラのロケット失敗。
8 月 13 日 (日) 中央公民館・講座室	チャレンジ体験教室報告(谷川)。広角レンズ 2 本購入テスト(谷川)。新居にドーム付けたい(金子)。	8/16・NASA 小惑星 TC4 地球に接近を発表。
8 月 27 (日) 高麗川公民館 【観望会協力】	奇跡的に晴れ、木星・土星・恒星見る。	8/22・米皆既日蝕の観測者多数に交通渋滞等の不安、日本からも多数参加。
9 月 3 日 (日) 中央公民館・講座室	観望会報告(谷川) らせん星雲・日周運動・網状星雲・月面と惑星の動画(浅井)	9/3・中国長征 5 号打ち上げ失敗。

9月8日(金)～ 10月1日(日) 中央公民館・文化祭	役員として駐車場係担当。大塚・谷川	9/8・巨大太陽フレア発生。 9/12・国立天文台 110 億光年先の銀河の変形過程を観測。 9/15・カッシーニ消滅。 9/21・国立極地研 250 年前のオーロラ記録発見。
10月8日(日) 中央公民館・講座室	『小江戸の星』No.76 発行。アメリカ日蝕観測報告(森山)。ソンプレロ星雲・M42・北極の回転(浅井)。L型金具購入(齋藤 裕志)。合宿代金返却。	9/21・人口流星構想。9/28・重力波欧州でも観測。小惑星探査で日独協力へ。
11月4日(土) 中央公民館・講座室	北米日蝕動画・皆既全天・分食(大塚)。FC-76 直焦分割合成(齋藤 裕志) 発電機騒音対策(持田)	10/16・東大超新星発生直後を観測。10/26・NASA 太陽系外の天体発見。
11月18日(土)～19日(日) 大間々台【観測会】	雪の舞う中、場所を学校平に変えて実施。しし座流星群数個、ヘッドライトを点灯しつ放しの車が数台で迷惑、即座に退散する。	11/24・電波望遠鏡アルマ公開。
11月25日(日) 日高市高麗公民館・巾着田【観望会】	終始雲量 50%程度、月・アルビレオ・M45 等見る。参加者親子 39 名。	11/26・日本月探査を目指し米に新基地参加。
12月3日(日) 中央公民館・講座室	観測会・観望会実施報告(谷川)。次年度の予定立案。不用品交換会・出品多数。	12/3・中国独自宇宙ステーション 2022 迄に建設。ボイジャー37年振りに復帰。 12/15・NASA2545 光年先に AI で惑星発見。12/19・金井飛行士 ISS 到着。 12/23・H2A2 衛星打ち上げ
平成 30 年(2018) 1月13日(土) 日高市白銀平【観測会】	「カノーパス観測会」低空にモヤがあるものの 21 : 50 出現、南中 22 : 30、没 23 : 00。参加 4 名	1/5・ジョン・ヤング飛行士死去。1/11・ハクト打ち上げ断念。
1月17日(土) 庄や【新年会】	参加 6 名	1/18・イプシロンの噴煙各地で見えた。1/31・皆既月食各地で観測。
2月25日(日) 中央公民館・講習室 1 号	カノーパス観測会報告・月食報告(谷川)。M42・M31・馬頭(RGBF)にてフォーサーズで撮影(片多)。M42 三峰で撮影ゴープロ使用(持田)。	1/26・米 ISS 予算打ち切り 2024。2/19・ニューホライゾン 61 億光年先の惑星撮影。2/12・ISS 民間移行。
3月11日(日) 中央公民館・講座室【総会・例会】	行事報告・会計報告・総会議決協議承認(谷川)。朝日新聞に日周運動入選(浅井)。冬の星座動画(浅井)	2/6・スペースX社、ファルコンビーロケット打ち上げ。1/27・JAXA 情報収集衛星光学 6 号機打ち上げ。
3月24日(土) 日高市高萩公民館・高萩小学校【観望会】	18 時過ぎから晴れ、ISS・月・すばる・ミザール・流星・衛星見えた。	3/2・星出飛行士 ISS 船長に。小惑星リュウグウをはやぶさ 2 撮影。3/14 ホーキング博士死去。
4月8日(日) 中央公民館・講習室 1 号	観望会報告(谷川)。日周運動撮影 300 コマ(浅井) M42・トラペジウム(持田)。ISS 対角魚眼で撮影(谷川)。上尾天文台連休中の写真展(森山氏)	4/5・スペースシップ 2 再開。4/12・東大チーム 90 億光年先の銀河検出。

4月21日(土) 県民の森 【観測会】	黄砂とPM2.5が来たが影響は少ない。こと座群数個見る。	4/18・NASA系外惑星探査衛星TESS打ち上げ。 4/27・インターステラMOMO2号打ち上げ発表。
5月19日(土) 三峰ヘリポート 【観測会】	夜半から晴れ流星多数・衛星4~5個、トイレは封鎖で使用不可。ゲスト2名。(三峰神社の気守りは交通渋滞を招くので販売中止に)	5/5・NASA火星探査機インサイト打ち上げ。5/7・大阪産業大132憶光年先の銀河検出。5/18・月面文字話題。
5月27日(土) 中央公民館・講座室	阿智の夜景ツアーの写真と動画(浅井)。木星撮影と編集実例(齋藤 裕志)。山とか野鳥の写真を合成出来ないか?(山内、渡辺)。初心者に話題を振る。	6/3・金井さん地上帰還。 6/4・はやぶさ2加速エンジン切る。
6月24日(日) 中央公民館・講座室	音入り動画の著作権?(浅井)。QHYカメラ実演(持田)。新規マウンダー周期か?(谷川)。馬頭星雲付近の撮影と解説(片多)。ポタ赤購入(齋藤 篤)	6/20・はやぶさ2りゅうぐうの窪地撮影。6/27・りゅうぐう到着。6/30・MOMO2号機失敗。
7月22日(日) 中央公民館・講座室	7/28の月食観測方法検討。動画2本・大垂水峠遠征(浅井)。月・水星・金星・H $\alpha$ 太陽・ISS撮影(谷川)。土星の動画(大塚)。懇親会計画。	7/19・はやぶさ2新規撮影のりゅうぐう。7/26・NASA火星の南極に水。7/27・火星大接近。7/28・皆既月食
8月4日(日) 中央公民館 【観望会】	チャレンジ体験教室・黒点無く、プロミネンスも小さいのが在るだけ。日中の金星は大受け(浅井)。	
8月11日(日) 県民の森 【懇親会】	18時頃は晴れていたが、22時頃には雨。齋藤裕志さんのニンジャ320で観測。	8/12・NASAパーカー太陽探査機打ち上げ。月の極地に水。8/18・京大岡山に3.8m望遠鏡「せいめい」建設。
8月19日(日) 日高市高麗川公民館 【観望会】	高麗川ファミリー天文クラブに共催で観望会・高麗川公民館。月・木星。火星・土星を見る。雲多し。	8/21・NASA月の極地に氷確認。
8月26日(日) 中央公民館・講座室	懇親会・チャレンジ体験教室報告(谷川)。NGC6741撮影・自宅前での天の川撮影・動画(浅井)。	8/30・アルマ124憶光年先の爆発した恒星の跡を検出。8/31・ISSで一時的に気圧低下。
9月22日(日) 中央公民館・講座室	『小江戸の星』No.78発行。見学者対応・仲山氏(ニンジャ300・EQ8・PODドーム。文化祭役員案内(駐車場係2名)	9/17・NASA前沢氏ISS行き発表。9/22・はやぶさ2探査ロボ投下。9/28・ミネルバ画像撮影。
10月6日(土) 県民の森 【観測会】	台風の影響で雲多いが、透明度良く、シンチは最悪だが夜明けまで撮影者が十数台で多かった。	10/11・カナリア諸島に世界最大級 $\gamma$ 線望遠鏡観測開始。
10月14日(日) 中央公民館・講座室	文化祭・観測会報告(谷川)M31・M52・ジャコビニチンナー彗星・スタックで撮影・動画2本(浅井)	10/13・ソユーズロケット故障でISS無人になる可能性。10/19・アリアン5打上。
11月3日(土) 玉原スキーパーク 【観測会】	夜半過ぎに雲が取れ、湿度は低く、気温2~5 $^{\circ}$ C。流星多数、衛星数個、黄道光見事。	11/5・AIUハッブルの法則を改称ハッブル・ルメールの法則に。11/11・こうのとりにからカプセル帰還。

11月25日(日) 中央公民館・講座室	観測会報告(谷川)。EQ6PRO 据え付けの状況(金子)。乙女高原で星雲団撮影・動画(浅井)。ガイド設備各種・パーチノフマスク自作・ピントエイド使用(石山)。月面モノクロ QHY で(齋藤ひ)。QHV でデモビデオ公開(持田)	11/26・NASA インサイト火星着陸。12/3・オリックス・レックス、ベンヌ到着。12/3・ソユーズ打ち上げ成功。12/11・ボイジャー2号太陽圏外へ。
12月15日(土) 高麗公民館・巾着田【観望会】	冬型気圧配置で良く晴れ、多くの天体を見た。ISS・ふたご座流星群・天の川・ウィルタネン彗星他。	12/8・中国長征3号打ち上げ。12/18・神戸大・小惑星多数に水検出。
12月22日(土) 中央公民館・講座室	観望会の報告(谷川)。不用品交換会。光軸調整要領(中島・谷川)。シャープキャップでピント出し良好(中島)。回折格子入手(関口)。	12/19・吉川真氏科学の10人に選定。
平成31年(2019) 1月19日(土) 【新年会】	庄やにて。参加10名	1/3・ニューホライズン 65億 km 先のウルティマトーレに到達。1/7・部分日蝕。
2月10日(日) 高萩公民館・高萩小学校 【観望会】	前日の雪と予報は雲勝ちであったが ISS は見えた。	1/19・イプシロン4号機打ち上げと衛星7個分離。1/24・堂平天文台近くで山火事。
2月24日(日) 中央公民館・講座室	『小江戸の星』No.79 発行。静止衛星の特定(谷川)赤道儀各種回路の製作、フラット処理(齋藤篤)。アニメ風動画(浅井)。流星のスペクトル(関口)。Photoshop ライトルームで処理(片多)。	2/13・国立天文台天の川ブラックホール確認。2/22・はやぶさ2リュウグウに着陸。
3月24日(日) 中央公民館・講座室 【総会・例会】	行事報告・会計報告・議題協議(会はe-mailと個人はSNSの活用) M51・オリオン付近・変光星撮影(浅井)、パーチノフマスク使用(片多)。マカリ講習・アストロ光学・CP2019 見学報告(谷川)北杜市の40・50cm故人の望遠鏡修理報告(仲山)。	3/3・民間宇宙船有人で打ち上げISSに到着。4/5・はやぶさ2クレータ作製。
4月21日(土) 中央公民館・講座室	天体観測心得2版改訂(谷川)。動画4本改良・桜と日周運動(浅井)。流星のスペクトル(関口)。	4/11・国際チーム M87 銀河のブラックホール撮影。
4月27日(土) 山の花道【観測会】	20時頃より快晴となり、多くの衛星見る。高高度衛星多く見る。流星は見えず多くの飛行機を見る。	4/25・NASA 火震をインサイトで観測。
5月19日(日) ※5月1日から令和1年	観測会報告(谷川)三峰(金子)。アンテナ銀河・日周運動・衝突銀河・動画3本(浅井)。流星のスペクトルみずがめ群(関口)。win7 ノートを返却。	5/23・はやぶさ2降下中止。5/25・NASA2024年のアルテミス月面着陸発表。
6月23日(土) 中央公民館・講座室	8/4・チャレンジ体験教室案内(谷川)。新規パソコン購入提案(谷川)。	6/22・ハワイの30m望遠鏡建設許可。7/11・はやぶさ再着地。7/12・岩石採取。
7月21日(日) 中央公民館・講座室	連休中の観測報告。ISS・H $\alpha$ 太陽(谷川)。ダークホース星雲・青い馬星雲撮影(浅井)。リブレオリックス(リナックス)使用開始(小平)	7/31・理科大・NASA 他の惑星で使えるテント開発。
8月4日(日) 中央公民館・チャレンジ体験教室 【観望会】	ガイドダンス(谷川)グランドで太陽観察。P.S.T.3台・無メッキ太陽望遠鏡・テレビにて投影観察・減光直視・電波観察。※夜に高麗川公民館で観望会、高麗川ファミリー天文クラブに協力開催・2名参加	8/8・アルマ最遠の銀河63個特定。
8月10日(土) 県民の森・懇親会	県民の森2段目で開催・8名参加。以後(齋藤裕志)は(齋藤ひ)と略記。	

8月18日(土) 中央公民館・講座室	チャレンジ体験教室・高麗川公民館観望会・懇親会報告・中島30cmドブの活躍(谷川・齋藤ひ)。フュー振り子動画(浅井)。原村報告(石山)	8/21・10cm四角の衛星実用化開始。8/23・はやぶさ2豪州で回収を発表。
9月15日(日) 中央公民館・講習室1号	ふれあい祭り案内(谷川) 会報記事募集と投稿要領(谷川)。川越で月・木星・土星撮影C9(大塚)。	TMTの建設ハワイ州の反対で中断。
9月28日(日) 中央公民館・ふれあい祭り	役員当番駐車場(大塚・谷川)	10/1・かぐら重力波検出計画発表。
10月13日(日) 中央公民館・講座室	台風19号の進路に当たり、中央公民館は緊急避難所となってすべて開催中止。	10/3・はやぶさ2小型衛星を放出。10/5・理研115光年先の網状ガス検出。
11月9日(土) 中央公民館・講座室	『小江戸の星』No.80発行。大間々台の観測会は強風で条件悪・M42撮影(持田)。くらぶち天文台見学(30cm反射・齋藤ひ) パーチノフマスク製作・北アメリカ星雲(片多)。馬頭・月面・サソリ座撮影(石山)。	10/29・はやぶさ2最終任務終了。リュウグウの重力調査。11/13・はやぶさ2地球へ出発。11/2・東大他宇宙強力ガンマ線を観測。
11月30日(土) ～31日(日) 北杜市【観測会】	50cmニュートン(故人の遺産・金子氏に譲渡)。空気が澄んでいて良く見える。	12/2・日本政府宇宙天気予報を強化。
12月7日延期8日(日) 日高市高麗公民館・巾着田【観望会】	8日に延期。低空迄良く見えた。月・金星・土星・二重星・星雲・星団・他を見る。	12/8・ボリソフ彗星太陽最接近。12/18・読売新聞流星の2天体衝突を正しく解説。
12月28日(日) 堂平山【観測会】	この指とまれ“カノープス観測会”堂平天文台パオ前で良く見えた。(谷川)	12/26・日本南部で部分日蝕。12/29・中国長征2号打ち上げ。
令和2年(2020) 1月11日(土) 【新年会】庄や	参加8名	1/11・ベテルギウス爆発の前兆で暗くなる?。1/20・ドラゴン宇宙船帰還。
2月8日(土)	『小江戸の星』No.81発行。プロジェクタ返却。	
3月8日(日) 中央公民館・講座室	パソコン返却。新型コロナウイルスの為当面の公民館活動停止。	3/16・日本書紀にオーロラの記述発見。3/26・はやぶさ2クレータ発生解明。3/26・NASA コロナで開発中断。
7月5日(日) 中央公民館・講座室 【総会・例会】	行事報告・会計報告・役員選出(新規の副代表に片多) プロジェクタ新規調達・パソコン新規調達決定。MLの設置・活用(片多)。HPのリニューアル検討(関口)。金環食・スバル+月撮影(谷川)。狭山と三峰で銀河団撮影(片多)。アニメ動画(浅井)。	4/12・りゅうぐうの形状そろばん玉。4/22・水星探査機みお地球スイングバイ成功。5/12・はやぶさ2のメインエンジン始動。
7月25日(土) 堂平天文台他 【観測会】	ネオワイズ彗星観測会・堂平天文台脇では雲の切れ間に見え撮影。赤城山小沼では場所の選定を間違えて見えず。(谷川)	6/1・民間機クルードラゴン打ち上げ。6/21・国内で部分日食。7/2・火球観測関東。
8月1日(土) 中央公民館・講座室・グラウンドチ	～太陽を見よう。多少の晴れ間はあるも後半は曇りで講習とする。金子さん臨時の講師。	7/30・恒星のスーパーフレア、せいめい望遠鏡で観測。8/2・クルードラゴン地球に

チャレンジ体験教室 【観望会】		向け出発・帰還。
8月15日(土) 山の花道P 【懇親会】	遠雷が見え夜半に晴れるも時々曇り・ペルセウス座 ☆多群多数見る。	8/16・国際共同チーム未知 の素粒子アクシオン検出？
9月5日(土) 中央公民館・講座 室	今夏の行事報告4件(谷川)。ISS・木星・土星動画 (谷川)。メトカーフ法でラブジョイ彗星撮影(片 多)。8/18~20の観測会は乙女湖方面予定。	9/13・はやぶさ2次の目標 1998KY26に決定。
10月3日(土) 中央公民館・講座 室	火星・中秋の名月・木星・土星拡大撮影・2倍テレ コン(谷川)。火星・木星・土星バーローレンズで (齋藤ひ)	10/20・オリシスレックス小 惑星ベヌスに着陸。
11月29日(日) 中央公民館・ 講座室	観望会について参加要領協議。12/19(土)又は20 (日)の協力者募集。	11/30・西日本各地で火球観 測。
12月19日(日) 中央公民館・講座 室・グラウンド 【観望会】	チャレンジ体験教室が予定されたが新型コロナウ イルス蔓延防止で中止。	12/1・アレスボ望遠鏡で装 置落下事故。12/14・チリで 皆既日食。12/6・はやぶさ 2カプセル回収成功。 12/14・チリで皆既日食。
12月27日(日) 中央公民館・講座 室	不用品交換会。木土接近・ふたご座流星群・ISS・ H $\alpha$ 太陽撮影(谷川)。木土接近・ふたご座流星群・ 王宮のアニメ(浅井)M1・M33・M42をライジン グカムで撮影・広瀬ダム(片多)。木土接近・月・ 火星を動画撮影・MS-128・FC-76で(齋藤ひ)	12/17・中国月無人探査機帰 還。12/29・IAU小惑星・ 彗星の観測100万個報告。
令和3年(2021) 1月30日(土) 中央公民館・講座 室	コロナ蔓延に付き、会合等の対応策。リモートで例 会、関口が対応。水・木・月齢1.1・UMA?・ISS (谷川)。レムナント各種・バラ星雲・オリオン付 近・新型webカメラでとIR改造・満月拡大(浅井)	1/3・スペースX社民間宇宙 船で打ち上げ、秋を発表。 1/26・東大ブラックホール の冬眠説。
2月28日(日) 中央公民館・講習 室2号 【総会・例会】	役員改選無し。リモート例会コーチ(関口)。パー チノフマスク自作・監視カメラ応用(片多)。FS-128 で火星・木星撮影・ソフトンフィルターでオリオン の色出し検討(齋藤ひ)。	2/19・パーシピアランス火 星着陸。2/26・メキシコ沖 で巨大クレーターからイリ ジウム検出。
3月28日(日) 中央公民館・講習 室1号	リモート例会練習打ち合わせ(関口)。トライバー チマスク自作星見屋・マルカリアンチェーン撮影 (片多)。EQ6PRO再設定(谷川)。ニュートンの 光軸合わせパラメータ5つ(金子)。	3/6・パーシピアランス走行 開始。3/16・仙台藩の渾天 儀天文遺産認定。3/18・反 ニュートリノ検出。
4月10日(土) 山の花道P・県民 の森【観測会】	東~南に雲が多く、場所を移動。	4/2・Nikon デジの生産年 内終了へ。4/3・国際チーム 史上最強のガンマ線検出。
4月25日(土) 中央公民館・講座 室	見学会観測会報告4件(谷川)。皆既月食・ガイド エラー修正法(片多)。EVスコープで撮影(仲山)。 川柳付の画(浅井)・FC76で月拡大(齋藤ひ)。	4/23・星出氏3度目の宇宙 へ。NASAリュウグウに水。
5月23日(日) 中央公民館・講座 室	前回の月食撮影法(齋藤ひ)。M13を自宅からコマ コレ付きで撮影(片多)。ISS・月食練習(谷川)。	5/9・中国ロケットインド洋 落下。中国無人機(天問1 号)火星着陸。
5月26日(水) 堂平山剣ヶ峰 【観測会】	皆既月食の観測会として開催。雲が多かったが時々 見えた。駐車場はほぼ満杯。	5/19・中国天問1号火星画 像撮影。5/21・国立天文台 121億光年前の銀河発見。

6月27日(日) 中央公民館・講習 室2号	観測会報告・チャレンジ体験教室案内(谷川)。見学者片山氏。パーチノフマスク自作・自作15cm反射フーコー写真(齋藤ひ)。H $\alpha$ 10nmのM16(片多)。2回目の観測会堂平天文台(谷川)。	6/2・ISSのアームに宇宙ゴミで穴。6/18・岡山大チーム、リュウグウの資料から有機物検出。6/25・米国UFOの正体1件正体不明。
7月24日(日) 中央公民館・講習 室1号	リモート例会実施(川崎天文同好会)。バンビの横顔・M8・三烈星雲・彼岸花星雲撮影ワテックでガイド熊谷で(浅井)。土星拡大C8+ZWO+Or12mm(齋藤ひ)。手持ち太陽拡大撮影(仲山)。	7/12・バージン社スペースシップ2飛行に成功。 7/20・ブルーオリジン社有人宇宙飛行成功。
8月22日(日) 中央公民館・講習 室・グラウンド 【観望会】	チャレンジ体験教室・雲量多くH $\alpha$ は不調。日蝕メガネ配布、19名参加3名欠席。	8/20・星出飛行士船外活動4回目最多実施。8/23・グリーンランド氷床最高点に雨。
9月26日(日) 中央公民館・講座 室	リモート例会2件報告(谷川)。新作アニメ3本(浅井)。夕空の月・木星・水星・FS128で木星・土星拡大(齋藤ひ)。満月FL300/4で撮影(谷川)。	9/8・パーシビアランス火星岩石採取。9/30・小惑星に渋沢栄一誕生。
10月24日(日) 中央公民館・講座 室	ISS・月木土星接近撮影(谷川)。月の出付近・満月動画・木星・土星・星座の日周運動(浅井)。北アメリカ星雲・妙義山と駐車場空撮(持田)。	10/4・ペピコロンボ水星撮影。10/14・STカーク船長宇宙に行く。10/17・ISS滞在中で映画撮影した女優・監督が帰還。
11月19日(金) 日高市高麗川公民 館【観望会】	高麗川ファミリー天文クラブ主催に協賛・半分は曇ったが皆既月食は見れた。木星・土星・金星を望遠鏡で見た。	11/9・イプシロン5号機打ち上げ・星出氏帰還。
11月28日(日) 中央公民館・講習 室2号	11/19の部分食観測報告、川崎天文同好会『星』No.400号受領。(谷川)。	11/25・NASA小惑星体当たり機打ち上げ。
12月11日(土) 高麗川南公民館 【観望会】	良く晴れてISS・月・木星・金星・土星を見る。2名の飛び入り参加あり。	12/8・前沢氏帰還。
12月19日(日) 中央公民館・講座 室	不用品交換会(すべて不成立)。観望会での惑星・ISS・月・木星撮影(浅井)。シリウスB・前澤氏ISS撮影(谷川)。青い雪ダルマ星雲・レナード彗星・M33・M42モザイク(金子)。金星スタック(齋藤ひ)。パソコン返却(齋藤あ)。	12/16・ジェームズウェブ望遠鏡ギアナから打ち上げ。12/28・名古屋大1958年のオーロラ長野広島で目撃発表。
令和4年(2022) 1月8日(日) 中央公民館 【観望会】	チャレンジ体験教室～冬の部～早い時間帯だが月他を見る。スマホで写す案内。浅井さんのパソコン画面で見るのも一方法。	1/11・北鮮ミサイル発射。
1月16日(日) 中央公民館・音楽 室	チャレンジ体験教室実施報告(谷川)望遠鏡の覗き方・姿勢の安定方法幾つか提案。月がハイライト、木星の縞、土星は無理な事がある。(片多)。月面Sは月齢5.4・しぶんぎ座流星群撮影(浅井)。プロジェクト返却(齋藤あ)。	1/16・英豪チーム、イトカワの微粒子に水を検出。 1/22・H3ロケットの打ち上げ再来年以降に検討。
2月4日(金) 美の山公園 【観測会】	ISSの観測は2回のチャンスがあり、2回とも成功。(谷川)。カノープスは超低空で写っていた(浅井)	2/7・NASA打ち上げロケットの残骸の幾つかが月に落下予想。



2月15日(土) 中央公民館・講座室	カノーパス観測会報告(谷川)。リモートで川崎天文同好会と繋いだ。山城天文同好会・横浜天文同好会・四街道天文同好会・YAA 田中・橋本宅中継。	2/15・NASA ジェームズ・ウェブ望遠鏡の自撮り。
2月20日(日) 中央公民館・講座室	プロジェクター故障につき、新規購入を総会で協議へ(旧品は予備として保管、11×80 双眼鏡と高橋 S 型改造赤道儀も)	2/16・反物質の対消滅を北陸の雷で検出。2/24・オランダチーム 6600 万年前の隕石落下を春と発表。
3月20日(日) 中央公民館・講座室 【総会・例会】	会報の pdf 化で印刷と郵送の経費を抑える。HP に公開する。(片多) 議決。時の鐘とのコラボ 3 作(浅井・齋藤ひ・谷川)	4/9・ISS への旅スペースド ラゴンで開始打ち上げ。 4/14・東大早稲田チーム 135 億光年前の銀河記録。
4月17日(日) 中央公民館・講座室	美の山公園の夜桜と ISS (谷川)。堤の桜と月・土星(齋藤ひ)。自宅八重桜コラボ・月・土星(浅井)。	4/25・NASA フォーブスの日面経過をパーシビアランスで撮影。
5月15日(日) 中央公民館・講座室	自宅から見た日周運動(浅井)。『星座のベクトル』発表練習(谷川)。仲山天文台の見学予定協議。	5/13・国際研究チーム、銀河中心のブラックホール捉えた。
6月19日(日) 中央公民館・講座室	星の村天文台 SLF 参加報告(小平・谷川)。HP の要領満杯は新規に増設検討(関口代理谷川)。天文アニメ 3 本(浅井)。	6/6・はやぶさ 2 の試料からアミノ酸検出。6/10・NASA UFO の解析に向けチーム結成。
7月10日(日) 中央公民館・講座室	仲山天文台見学予定 7/23(土) 19:00~。	7/10・国立天文台ブラックホール撮影に異議。7/12・ジェームズウェブ望遠鏡の画像公開。
7月23日(土) 志木市【見学会】	仲山天文台見学(佐藤・畠山・谷川)。	7/13・Nikon デジイチの開発を終了。
8月14日(土) 中央公民館・講座室	見学会報告(谷川)。天体観望動画 2 本(浅井)。初心者講習会として ISS 他観察報告・巾着田(佐藤・畠山・谷川)。	8/5・韓国の月探査機(タヌリ)打ち上げ。
8月19日(土) 中央公民館・軽体育館・グラウンド	チャレンジ体験教室・小雨で講義だけ実施。太陽グラス・星座早見配布。	8/21・SLS の打ち上げ予定とオリオンにスヌーピー登場 8/29。
9月11日(日) 中央公民館・講座室	行事報告(谷川)。例会日の通知を早くし(1ヶ月前) ML を作成しする(片多)。川越市石田で星雲写し(浅井)。木星・土星 C8 で撮影(齋藤ひ)。	9/22・ジェームズウェブ望遠鏡海王星撮影。9/27・NASA 小惑星 DART に衝突成功。
10月1日(日) 中央公民館・講座室	役員当番 2 名選出・駐車場係。(谷川・畠山)	10/12・イプシロン 6 号機打ち上げ失敗。10/7・若田さん 5 回目の ISS 到着。
10月9日(日) 中央公民館・文化祭	GP ベルトドライブ改造(金子)。カートン Φ60F20 で M33 撮影(浅井)。木星・土星撮影(齋藤ひ)。ビクセン GP 改造中(佐藤)。Advanced-GT 改造中(畠山)。堂平天文台で ISS・天教プレゼン(谷川)	10/11・小惑星 DART の自転周期 32 分短縮に成功。
11月5日(日) 中央公民館・講座室	11/8・皆既月食案内・高麗川公民館、チャレンジ体験教室案内 2023/1/14(土)(谷川)。ガーネットスター星雲・金子天文台(浅井)。火星・木星・土星スタック(齋藤ひ)。	11/1・中国の宇宙ステーション完成へ。

11月8日(火) 高麗川公民館 【観望会】	皆既月食観察会・高麗川ファミリー天文クラブに協力。良く晴れて火星・木星・星雲星団も見る。	11/8・皆既月食と天王星食重なる。11/12・ISS2030年迄延長運用開始。「オモテナシ」月着陸断念。11/25・JAXA 実験データ捏造。
12月11日(日) 中央公民館・講座室	不用品交換会(成立1件)。広角レンズの露対策(谷川)。川越市内と東松山で撮影・皆既月食・日周運動・星雲星団は金峰山荘で(浅井)。地球の影・月食中の火星・C8のロンキーテスト(齋藤ひ)。月食中の天王星食動画(大塚)。金子氏の31cmカセ売却。	12/20・リュウグウに風化の痕跡。12/12・アイスペース社月に向け着陸船打ち上げ。12/23・火星探査機インサイト運用終了。
令和5年(2023) 1月8日(日) 中央公民館・講座室	カノープス観測会の予定発表(谷川)。ビクセンΦ100/FL1000mmで星雲・星団ベスト(浅井)。ふたご座流星群・スターリンクフレア・露対策(谷川)。本日の黒点・天王星食・皆既月食・電子観望(仲山)	1/8・理科大月面住居お披露目。1/10・日米宇宙協定で協議。1/12・古川飛行士にデータ捏造で戒告処分。
1月14日(土) 中央公民館・講座室・グラウンド 【観望会】	チャレンジ体験教室。雨後に晴れた。金星・火星・木星・その他見える。	1/15・国連環境計画南極のオゾン層2066年頃に回復発表。
2月5日(日) 中央公民館・講座室・カノープス 【観測会】	カノープス観測報告(谷川)。アイヌの星座と冬の星座のアニメ(浅井)。ZTF彗星メトカーフ巾着田・M42自宅C8・VMC200L(佐藤)。ZTF彗星FC50(齋藤ひ)。Φ50cmニュートン調整記(金子) ZTF彗星・ISS(谷川)	2/2・若田さん再度の船外活動。2/18・北鮮のミサイル日本海EEZ内に落下。2/24・リュウグウに2万種の有機物検出。
3月5日(日) 中央公民館・講座室 【総会・例会】	規約改正(副代表の観測会幹事取り止め)。ZTF彗星・木星接近(谷川)。同(浅井)。冷却カメラの馬頭星雲・月のフレア対策・新星景(持田)。	3/7・H3の2段目エンジン着火せず。3/12・若田さん地球に帰還。
4月2日(日) 中央公民館・講座室	天文現象基礎講座「画像処理」(谷川)。馬頭星雲画像処理(持田)。YouTubeにup多数(浅井)プロジェクタ故障。	3/19・ジェームズウェブ望遠鏡の成果予想以上。4/20・沖縄方面で部分日食。
5月7日(日) 中央公民館・講座室	金星日面通過150周年記念行事案内(谷川)。プロジェクタ修理・取扱は専任制に(谷川)。Hα太陽をP.S.T.で(浅井)。「一貫斎の見た宇宙」(谷川)	5/1・京大400光年先のプロミネンス観測。5/20・イプシロン失敗部品確認不足。
5月28日(日) 横浜市教育会館・協力参加	川崎天文同好会主催の記念講演と解説2件・記念碑と観測場所見学。日本天文遺産に「金星の太陽面通過記念碑」認定	5/26・かぐら再稼働。5/30・中国民間有人宇宙船打ち上げ。
6月4日(日) 中央公民館・講座室	川・天40周年出版の会員参加はアンケート投稿(谷川)。音声入り動画「夏の星座」(浅井) M101新星(金子)。TVカメラで火星・M101新星(関口)。	6/15・東工大エンセラダスに高濃度の燐発表。
6月28日(日) 中央公民館・草取	役員参加(谷川)	6/30・バージン社商業宇宙旅行開始。費用6,500万円
7月2日(日) 中央公民館・講習1号室	アニメ「12年目の恋」「小海の星」(浅井)。月6枚合成(齋藤ひ)。三烈星雲・網状星雲・10枚コンポ(持田)。流星のスペクトル・スワン彗星・M101新星撮影(関口)。月面・金星・木星のスペクトルfit出力可能に(仲山)。HDRエラー解決(谷川)	7/1・ESAユークリッド打ち上げ。7/14・JAXAイプシロン燃焼実験で爆発。
8月6日(日)	ミード20cmで土星・自宅から隅田川花火動画(浅	8/8・NASA新型宇宙船オリ

中央公民館・講座室	井)。C8で土星(齋藤ひ)。ISS・H $\alpha$ 太陽・観望会P-P完成(谷川)	オン公開。
8月20日(日) 中央公民館・講座室・グラウンド 【観望会】	チャレンジ体験教室・「太陽を見よう」終始薄雲が取れなかったが観測は出来た。猛暑で参加者も協力者もキツイので以後は改善必要。	8/12・露ロスコスモス無人月探査船打ち上げ。8/24・北の飛翔体沖縄を通過。
9月3日(日) 中央公民館・講座室	不思議な写り込み・木星・土星・動画3本(浅井)。ワームムーンLRGB合成・土星モノクロ合成(佐藤)。月拡大ビデオスタック(仲山)月食・木星・土星(齋藤ひ)。スーパーブルームーン(谷川)	9/2・インド太陽観測衛星打ち上げ。9/7・木星に小惑星?衝突の閃光捉える。
10月29日(日) 中央公民館・講座室	今後の行事予定(谷川)。長野でも動画3本(浅井)オリオン群のTV画像スペクトル(関口)。30cm反射で月(仲山)。月拡大20cm反射比較・H $\alpha$ 太陽(谷川)	9/24・ベヌ地球に帰還。9/25・西洋天文学邦訳ドイツで発見。9/28・国立天プラックホールの自転検出。

このようにしてここ10年の活動を振り返ると川越天文同好会の活動の中心と言ったものが僅かずつではあるが変化しているのが感じられる。

2013頃にはドブソニアン望遠鏡を主体に観察する人も多かったが、数年の内にブームは去った気配で以後に来たのが高度な画像処理による天体の表現と、その講習会になるように思われる。

また、専門的に流星等の解析を行って発表する方もおり、各種天文機関にて公表される機会が増えた。

観測機材や撮影器材の変化では第一にデジイチとTVカメラを使った記録と、その統合アプリが成果を上げており、より緻密で高精細な天体の表現が可能となっている、これらを支える機材としては全自動制御の赤道儀にパソコンでコントロールするものが主体をなしており、同様にパソコンに取り込んでの処理方法がブームとなっている。

世間の天文・宇宙関連の情報収集に用いた新聞社は主に読売新聞(朝夕)・部分的には朝日新聞・毎日新聞・北海道新聞等の記事を採用しており、時々週刊誌・地域広報誌等を収集している。

A3版のスクラップブックに貼り付けており、収集開始は1975年(昭和50年)からになり、今回はその内の最近10年分をまとめた。

開始からは冊数にして49冊となり、2024年初頭には50冊に達する予定である。最近ネット検索で十分な情報を習得出来ると思うが、子細な内容はやはりこのような記録を漁る必要があるように思われ、今後も続けるつもりです。以下写真参照 了



天文関係のニュースを収集している主に新聞からの切り抜きを集めたスクラップブック

## 「天文放浪記（番外編）」

齋藤裕志

現在は母親の介護のため暗い星空を求めて遠征等の天文活動が出来ないでいる。そのため、自宅での惑星と月の写真を主に撮影している今日この頃です。早いもので川・天も 40 周年を迎えると共に自分にとって節目の時期でもある。10 年ごとの会報にてその時々的心情を書いてきましたが、今回はアンケート形式で会報をまとめています。

毎回、同じ様な事を書いています但し私事では川・天 30 周年以降としては、やはり機材等がデジタルに変化してきた事でしょうか。但し、所有の主機材（鏡筒、赤道儀）は相変わらず 30 年以上前の古い機材ですが、それでも画像処理すれば鑑賞程度の写真なら充分です。あまりにも極めたデジタル写真の進歩には違和感さえ覚える程です。

還暦を過ぎた頃からは身体及び気力的にも衰えを感じ、そろそろ重い機材の断捨離を考える時が近づいて来たかと思うようになりました。しかし、特に古い機械式赤道儀は電動化された物より基本的に壊れないし、経年劣化もほぼ無く、メカニカルな姿は眺めているだけでも楽しい。単純に天体観望するのに PC や電源等よけいな物がいらぬのが良い。目的の天体導入には目盛環さえあれば暗い天体も簡単に導入出来る。（ただし、極軸望遠鏡のパターンが古いと目分量で調整が必要）

昨今の赤道儀には目盛環が無い物が多く、遠征先で赤道儀の電気系統が故障したり、電源を忘れてらまともに観望すら出来ない。

最近の天文歴の浅い天文愛好家には目盛環の目的すら解らない人もいて、ただの飾りだと思っているようです。少なくとも赤道儀の目盛環だけは残して欲しい。

また、微動装置（例えば銀塩カメラの巻き上げ部？）のある古い赤道儀なら昔懐かしい手動ガイド（これはもはや死語か？）で写真撮影を行うことも出来る。

また紙の星図を所有していない人も多いと思いますが、野外星図や星座早見盤ぐらひは一つ所有して欲しいですね。つまり、デジタルも利用しながらもっと気軽に暗い空で天文趣味を楽しみたいだけなのだ。なんだか、年寄りの小言みたいになりましたが遠い昔の天文少年だった同年代の人には多少理解できると思います。

また、体力的に車での遠征が難しくなれば街中で自動導入の赤道儀で観望するのが良いのか？でもいちいち苦勞して機材を組み上げても街中では大口径の望遠鏡でもまともに星雲や星団が見えないのなら、理想ではあるが第 2 の人生として暗い空に観測所を造り田舎暮らしとして移住先（福島、長野、山梨、茨城）を考えるか。う～ん、段々支離滅裂になってきた。そんなわけで天の川銀河が見える彼の地で天文趣味を中心とした楽しく生きるための終活を考える今日この頃です。高齢化している同好会の諸氏も考えてみては如何か。







## 近年の天象予報の評価

谷川 政敏

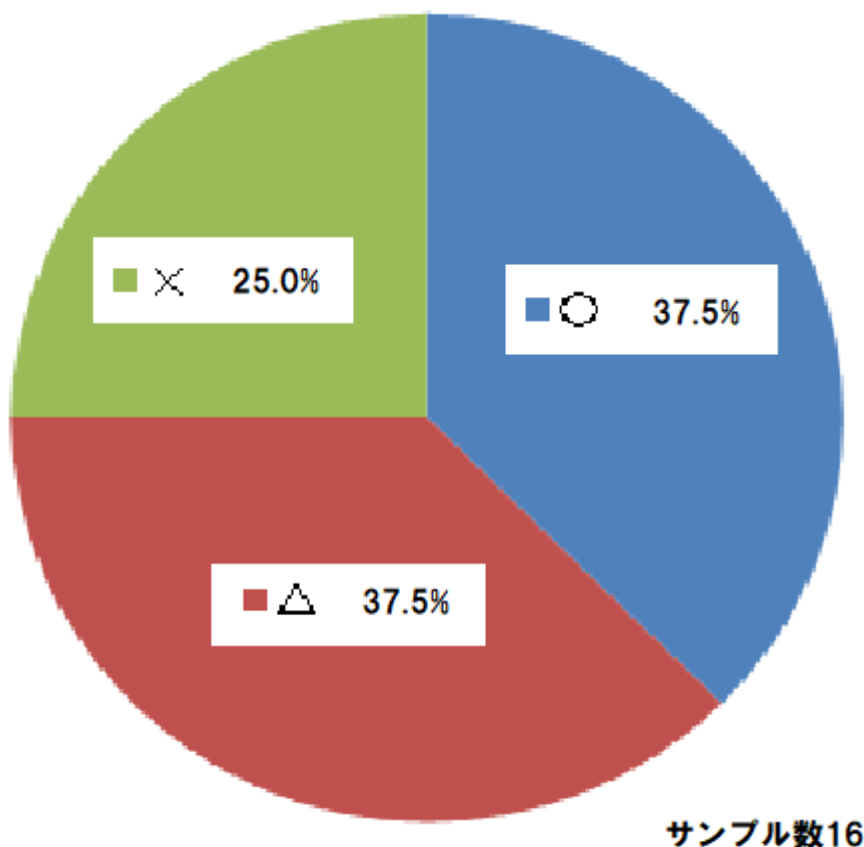
近年、信じられて来た天文現象の内、マスコミによって報じられ世間を騒がせた幾つかの物は期待した以上には見えず、また、予想しなかった物が期待以上の出現を見せた。ここでは近世の天文現象がどの程度の評判と結果であったのかをまとめてみたのでご覧下さい。特に目立つ物に彗星の規模があるが、流星雨（群）も候補として取り上げ、十分とした。

### 【 彗星の評価 】

No.	年号	名称	評価	参照
1	1910 明治 43 年 (1 月)	無名？	△	白昼に太陽近辺で見たが金星並みに明るく、ハレー彗星と混同される。
2	1910 明治 43 年 (春)	ハレー彗星	△	地球危機説が流布し、観測は小数。上記の彗星が混同されている。
3	1965 昭和 40	池谷・関彗星	○	明け方の大彗星となったが、真冬で一般の目撃者は案外に少ない。
4	1972 昭和 47	ジャコビニ・ツィンナー 彗星	×	一般の認識は彗星よりも流星群であったので注目されず。
5	1974 昭和 49	コホーテク彗星	×	3 等級にしかならず肉眼でやっと。
6	1976 昭和 51	ウエスト彗星	○	予想に違わぬ大彗星となった。
7	1983 昭和 58	IRAS・荒貴・オルコック 彗星	△	地球に接近したが 4 等級にとどまり短期間の出現で残念。
8	1986 昭和 61	ハレー彗星(春)	△	一般の認識との差がかなりあった。
9	1990 平成 2	オースチン彗星	×	世相から地球危機説が流布された。
10	1994 平成 6	シューメーカー・レビー 第 9 彗星	○	事前に木星衝突予報がなされ、後日の現象も良く見えた。
11	1996 平成 8	百武彗星	○	細長い尾が印象的。
12	1997 平成 9	ヘール・ボップ彗星	○	予想通りに大彗星となった。
13	2004 平成 16	ブラッドフィールド彗 星	○	明け方の空で明るく見えたが一般受けしなかった。
14	2007 平成 19	マクノート彗星	△	近年に無い大彗星だが、南天すぎて日本ではほぼ見えなかった。

15	2007 平成 19	ホームズ彗星	△	事前に過去の実績が流布されていれば観測者のためになった。
16	2013 平成 25	アイソン彗星	×	遠方の彗星からの予報光度を誤った事により、消滅の憂き目に。

これを現象全体に占める割合で図示すると以下を得る。



### 彗星の予報外れの割合

この図からは完全とまでは行かないが、評価の良い物 (○) とまずまずの物 (△) を合わせ、75%の正答率を得る。

次に良く予報の精度が問い質される流星雨について近年のまとめを行った。結果は以下の図の通りであるが、出現してもしなくても予報が当たれば○を付した。

### 【 流星雨の評価 】

No.	年号	名称	評価	参照
1	1956 昭和 31	ほうおう座流星群	—	南極観測船宗谷の見た流星雨。
2	1966 昭和 42	しし座流星群	×	アメリカ西海岸で大出現。
3	1967 昭和 43	群名不明	—	須田ちか子らによる昼間の流星雨。
4	1972 昭和 47	ジャコビニ流星群	×	不発となった著名な流星雨。



5	1985 昭和 60	ジャコビニ流星群	○	日本での出現多数。
6	1992 平成 4	ペルセウス座流星群	×	突発的な出現。
7	1999 平成 11	しし座流星群	○	主にヨーロッパで多数。
8	2001 平成 13	しし座流星群	○	主に西米～東洋で多数。
9	2013 平成 25	アンドロメダ座流星群	○	ビエラ彗星起源、電波で多数。

※主に ZHR（全天時間平均数）1000 個程度以上の出現と思われる例を挙げた。

しかして、他の現象（流星群・流星雨）については現時ではサンプル数があまりに少なく解析に至っておらず、今後が待たれる。

【参考文献】

1) 野尻 抱影

<https://blog.goo.ne.jp/oldtelescope/e/925f44888756e20df640dc8579b4ac3e>

2) 富田 弘一郎

[chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.asj.or.jp/geppou/archive\\_open/1964/pdf/19641012.pdf](chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.asj.or.jp/geppou/archive_open/1964/pdf/19641012.pdf)

3) 高橋 彰

<chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcglclefindmkaj/http://southerncross.na.coocan.jp/kaihou/40year.pdf>

4) 『彗星年表』

彗星年表編集委員会編 <https://www.comet-web.net/~chb/chb.html>

5) ネット抽出・マスコミ報道

Wikipedia、サイエンス ZEROE テレ、『江戸の科学者』（吉田 光邦）、天文ガイド、星ナビ他



## 金星記念会報告

文責 谷川 政敏

本題を『明治7年(1874)金星太陽面通過横浜観測地の日本天文遺産認定を祝う会』(略称金星記念会)と称する記念すべき会合が5月28日(日)に横浜市教育会館にて開催され、本会もご招待を頂いたので出席となりました。

主催はご存じ川崎天文同好会で、手慣れた進行が伺える記念会に相応しい会合となりました。

来賓の出席はメキシコ大使館から一等書記官コスメ・ガルシア氏、神奈川県立青少年センター・奥村氏、国立科学博物館・洞口氏、フェリス女学院・冠木氏、等々の蒼々たるメンバーです。

去ること明治7年(1874)12月9日(水・大安)に東洋方面で観測された金星の日面通過には幾つかの国から観測隊が来日し、特にメキシコからの観測隊は珍しさもあって特に著名な一件となった。

この隊は9月18日にサンフランシスコを出発し、当初の予定地だった北京とオセアニアへは船上で聞いた「横浜は冬の晴天率が高い」の情報によって行き先が変更となった。その後にアメリカ公使の推薦状を携えて11月9日に来日となった。観測隊員は5名で内1名は病気となり観測は不参加。

横浜では見晴らしの良い野毛山と山手に観測地を構える事になったが、借地の許可申請に手間取り、結局2ヶ所の観測小屋を設置出来たのは観測当日に近かった。

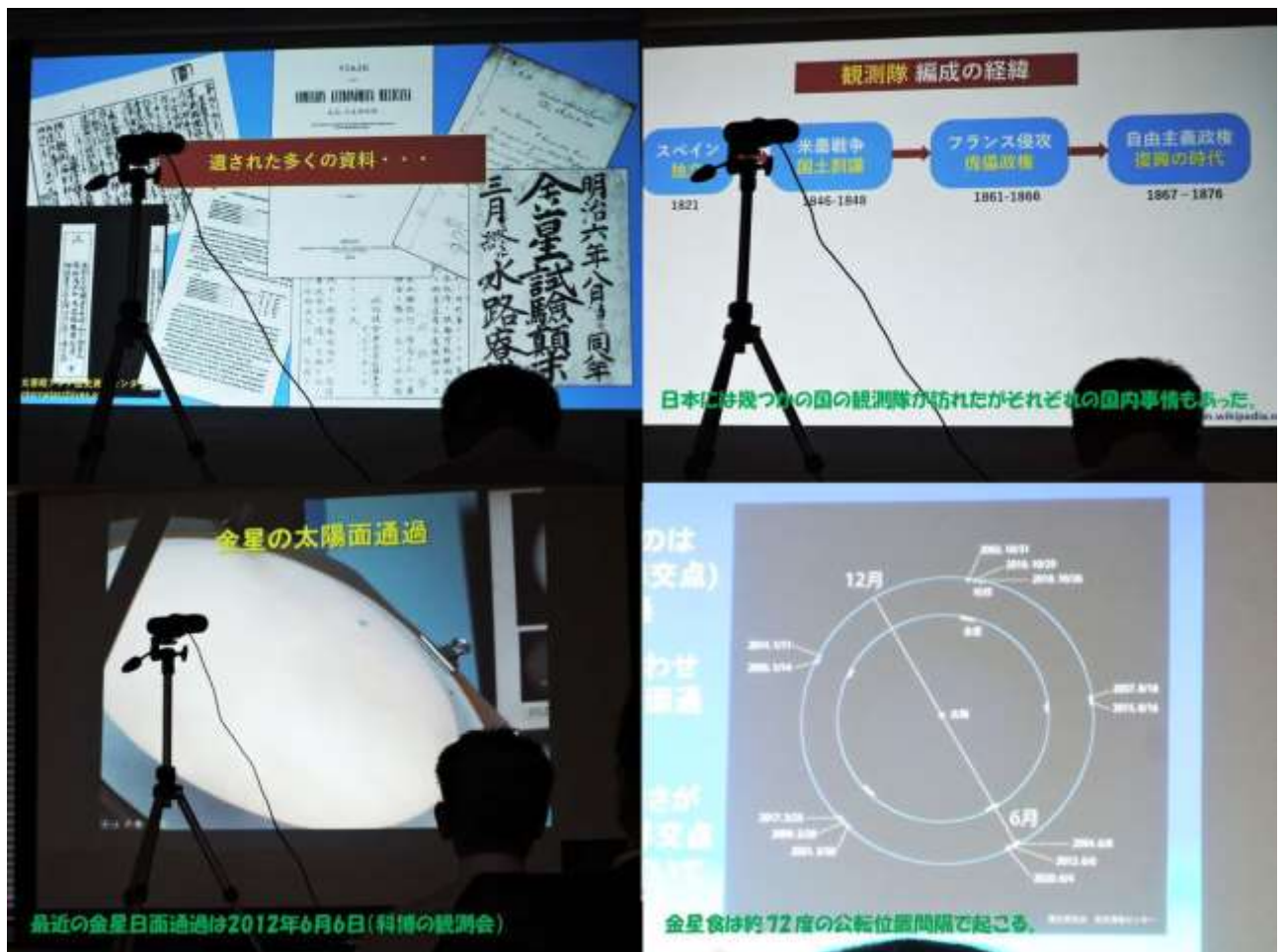
(観測地が2ヶ所なのは予備を含めた申請がすべて通った為と言う事らしい。)



はてさてこの場所には2つの観測小屋が立てられ、それぞれには口径5cmと5.6cm経緯儀、7cm天頂儀、9.5cmと10cm屈折望遠鏡、六分儀、クロノメータ等が分散して設置された。



これらの器材は接触時刻の測定、観測地の位置決定、記録写真撮影の為だが、クロノメータは何度かの地震で狂い、校正には苦労したようで最終的には大陸と既に海底ケーブルによる通信が出来たので、それを長崎～東京の電信所と繋いで用いた。



金星食の起る条件は黄道面上でほぼ  $72^\circ$  の等分角となるが、金星と地球の軌道傾斜角が違うので、両者が合致するのは滅多に無く、前回は 2012 年 6 月 5 日で数十～百年に一度の現象である。



そして注目の観測日は朝から良く晴れており、日本時の 11 時 04 分頃には太陽が食される第一接触) が観測された。

その後、第 2 接触～第 4 接触も順調に観測され、接触時刻の計測と写真が得られている。

因みにこの時の時刻計測は後日の解析により $-60$ 秒 $\sim+40$ 秒の誤差を含んでおり、現代とは比較にならないが、当時はそれで精一杯の観測結果と思える。



講演会後に訪れた記念碑を熱心に観望した出席者

神奈川県立青少年センターの隣にある記念碑は100周年を記念して建立されたもので、最近本館の改修に伴って現在の場所に移設された。



今は個人宅の庭にある観測位置を示す観石

講演会後に訪れた観測点を示す場所の一つは現在個人宅の庭となっており、観測小屋の礎石が残っており当日は特別に門を開けて見学させて頂いた。



山手観測点 現在のフェリス女学院中学校・高等学校敷地内（会報「星」304号より）

観測点のもう一つは現在のフェリス女学院中・高等部のグラウンド内にあり正確な位置をGPSにて割り出し、示唆するマーカーを敷地内に3か所儲け、グラウンド外には説明板がある。



## ★えピソード★

- ・ 当時は植民地の排斥運動等が盛んで、外地に国旗を立てるのさえ反感をかっただけだが、この時は臨時に設けた観測小屋の上に国旗を掲揚するのが問題無く行われ、観測隊を喜ばせた。
- ・ 同様に世界で戦争の足音が響く中、平和的な外交によって訪れた観測隊は、「武力によらない友愛と尊敬に基づく外交がこの世に存在する。」事を証明することとなった。
- ・ 本件の観測点と同時に設置された神戸と長崎の観測点は 2018 年に設けられた日本天文遺産に 2021 年分（4 回目）として認定されている。（観測点は他にも国内に多数存在する由。）
- ・ 記念碑のある“もじみ坂”は“金星坂”と改名してはどうか？という案が出されている。
- ・ その後、該当地となったフェリス女学院とメキシコの教育省関係とは未だに交流があり、人形の拝領やサイン入りの体操着を交換したりしている。
- ・ 今回ご訪問頂いたメキシコ大使館のコスメ・ガルシア氏はこの会開催時の正確な年数を発声され、「今から 149 年前。。。とし、省略して 150 年前と言いたい処なのに頭脳明晰なお方でした。



# 特集

☆☆☆☆☆☆☆☆ 会員の動向調査 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

川越天文同好会発足当初から不定期に実施している会員の活動状況とか、使用している機材等をアンケート形式で集計し、ここに一覧表として取りまとめましたのでご一読下さい。（順不同）

No.	項目	回答	etc.
1	氏名	小平修一 天文歴 62 年	
2	40 周年の感想	40 周年おめでとうございます。30 周年から 40 周年まではとても速く過ぎたような気がします。	
3	今後やりたい事	妻の実家の放牧地の一角に天文台を作りたい。 月の裏側をじっくり見たい。 銀塩写真は随分撮ったがデジタル写真は経験値が足りないので撮っていきたい。	
4	活動分野	太陽黒点、月、彗星、星景写真	
5	主な使用機材 (パソコン機種も)	Maxvision 127/950mm アポクロマート屈折 FS-60CB R130S EQ6 赤道儀 Vixen GP 赤道儀 Nikon F, F70, COOLPIX G500 Canon EOS kissX4 (パソコン機種) Fujitsu LIEBOOK A573/G VAIO SVE14AJ16N 自作 desk top	
6	主な使用 OS	Windows 10(Windows 7 から 10 に up date) Windows 10(Windows 8.3 から 10 に up date) Ubuntu	
7	主な使用アプリ	Open Office, Sirius Comp, Stellarium, コジ時計 LibreOffice, つるぷらフリー版	
8	その他		

No.	項目	回答	etc.
1	氏名	関口 孝志 天文歴 50 年	川天歴 40 年
2	40 周年の感想	開設 40 周年おめでとうございます。 初年度からアツというに 40 年。 皆さんと共に星と付き合ってきました。時代の変化についていくのが大変ですが天文活動が楽にもなりました。	

3	今後やりたい事	画像処理を上手にやりたい。 色々な動画作成 天文台ドームの設置	
4	活動分野 (複数可)	流星の観測研究。彗星の観測。電視観望。 天体写真。ホームページの作成。ライブ動画配信。動画作成。論文作成。	
5	主な使用器材 (パソコン機種も)	Sky Explorer (φ100/FL450mm) ZWO 2600MCP, 585MC, 385MC, 290MM  Sony α 7s, WatecN100, IMX327 等  DELL 4台 FMV ノート 3台	天体観測写真等用  流星用 13 台  観測用計算用等
6	主な使用 OS	Windows11・10・8.1 64bit	8.1 は、屋上用
7	主な使用アプリ	ステラナビ 12 ステラショット 2 ステライメージ 9 ASI Studio SiriusComp ホームページ・ビルダー18  UFOCaptureHD2 UFOAnalyzerV4 UFOOrbitV2 OBS Studio  RSpec マカリ CKTriangleR	天体観測写真等用  流星観測解析配信用  スペクトル解析用
8	その他	次の 50 周年に向けて頑張ります。	

No.	項目	回答	etc.
1	氏名	金子吾朗 天文歴 12 年	
2	40 周年の感想	随分歴史があるんですね。谷川さんの継続力に感服です。	
3	今後やりたい事	たくさん天体写真を撮りたい。まだ見ぬ天体の方が多いですから。	
4	活動分野 (複数可)	銀河、星雲、彗星、なんでも。星景写真もやってみたい。	
5	主な使用器材 (パソコン機種も)	口径 50cm, 焦点距離 2500mm 日本特殊光機のニュートン hp, mouse computer, Apple	
6	主な使用 OS	Windows, Mac OS	
7	主な使用アプリ	StellaShot2	
8	その他	趣味を通してたくさんの人と繋がる事ができて嬉しいです。	



No.	項目	回答	etc.
1	氏名	大塚 成己 天文歴 40 年	川天歴 30 年
2	40 周年の感想	おめでとうございます。 何事も長く続けるのは大変です。	
3	今後やりたい事	徐々に遠征を復活させたいが、モチベーション が上がらない。山ヒルとか居ませんかね？と不安 が先に立ちます。	
4	活動分野 (複数可)	太陽・月観察。	自宅屋上で出来るもの。
5	主な使用器材 (パソコン機種も)	LUNT80PHT FL70S 等	いっぱいありますが、 使っているのはこんな もの。
6	主な使用 OS	windows10 64bit	
7	主な使用アプリ		
8	その他		

No.	項目	回答	etc.
1	氏名	谷川 政敏 天文歴 60 年	
2	40 周年の感想	開設 40 周年おめでとう御座います。 年と共に星と向き合う姿勢も変わりますが、 これからは地球を離れて宇宙人になる事を目 指しましょう。	
3	今後やりたい事	宇宙に行って星が見たい。 地上の星の感覚を宇宙の世界に広げたい。 天体写真が上手になりたい。	近くに天文ドームが欲 しい。
4	活動分野 (複数可)	彗星の観測、ISS の観察	天文常識の限界を破り たい。
5	主な使用器材 (パソコン機種も)	OMEGA4550 ドブソニアン (φ 450/FL2222mm) SE200N/CR ニュートン (φ 200/FL1000mm) FL102S 改屈折 (φ 102/FL900 mm) .双眼 P.S.T その他天体望遠鏡は推定 13 本 EQ6PRO・Advanced VX・CD-1 赤道儀他 富士通 Espimo デスクトップ・LenovoG560 ノ ート、NikonD810A・coolpix990・995・340	自宅★見台所有
6	主な使用 OS	Windows10	
7	主な使用アプリ	PhotoshopElements2021、JTrim、 SiriusComp、 Word2010、j:com.webmail、	
8	その他	アマチュアと言わず、天文関係者は一般の方の 天体観察に尽力すべきと思う。	

- 1) 氏名： 齋藤 裕志 天文歴：55年
- 2) 40周年の感想  
早いんですね、もう40周年ですか。体力等で老いを実感する訳です。  
現在は、母親の介護中で天文活動は自宅での惑星撮影中心ですが、  
暗い空の下で久しく見ていない天の川銀河を眺めたいですね。
- 3) 今後やりたい事  
観望を中心にした星雲星団の撮影。  
モノクロ PC カメラによる月面写真。
- 4) 活動分野（複数可）  
惑星撮影を主に天体写真全般及び星雲星団観望。
- 5) 主な使用器材（パソコン機種も）  
赤道儀：三鷹光器 GN170、高橋製作所 90S 及び P2、  
五藤光学スカイグラフ。  
鏡筒：タカハシ FS128 (F8.1)、FC100 (F8)、FC76 (F8)、  
FC50 (F8) 屈折、自作鏡による 150mm口径反射。  
セレストロン C8 シュミカセ、Ninja320 ドブソニアン。  
双眼鏡：ニコン 7x50SP、9x30 ダハ。  
カメラ：Canon 5D Merk II、III、60D、40D, Nikon F2 フォトミック  
その他、古い Nikon 交換レンズ多数。  
ZWO ASI224MC、QHY5L-II M、その他アイピース等多数。
- 6) 主な使用 OS  
Windows10、Windows7
- 7) 主な使用アプリ  
Photoshop CS2、Elements、ステライメージ 7、9  
AutoStakkert3、SharpCap、RegiStax6 その他。
- 8) その他  
使用機材のほとんどが 30 年以上前の遺物でこの趣味を楽しんでいます。  
そろそろ断捨離を考える時期なのか？。しかし、古い赤道儀等のなんとも  
旧態依然としたメカニカルな姿が見ていて飽きないのです。

- 1) 氏名 仲山 義秀 天文歴 小学生のころからを含めると 60 年
- 2) 40周年の感想  
川越天文同好会に入会させていただいてから約4年、その10倍の歴史が  
あるのだなあと感じています。
- 3) 今後やりたい事  
・太陽フレアの光学と電波の両方の観測を行いたい。  
・恒星等のスペクトル観測をして、HR 図を確かめたい。  
その応用として遠い天体（3C273 等の赤方偏移の観測で天体までの距離を確かめてみたい。
- 4) 活動分野（複数可）  
・天体写真  
・スペクトル観測  
・電波観測 太陽や木星など
- 5) 主な使用器材（パソコン機種も）  
望遠鏡：

- ・笠井 GS-300RC/TR
- ・スカイウォッチャー EVOSTAR72ED II 鏡筒
- ・コロナド P.S.T. H $\alpha$  太陽望遠鏡
- ・Unistellar eVscope

赤道儀：スカイウォッチャー EQ8

- ・iOptron GEM30
- ・Sky Watcher AZ-GTe

パソコン：・FMV LIFEBOOK

- ・NEC Lavie
- ・Panasonic TOUGHBOOK
- ・Lenovo Thinkpad
- ・Apple Mac Book Pro

6) 主な使用 OS

- ・Windows 10.11
- ・Mac OS

7) 主な使用アプリ

- ・ステラナビゲーター11, 12
- ・ステラショット
- ・ステライメージ
- ・SharpCapture

8) その他

1) 氏名 **畠山 裕介** 天文歴 1 年

2) 40 周年の感想

40 周年という歴史ある川越天文同好会の一員として活動出来る事を光榮に思います！

3) 今後やりたい事

- ・老若男女問わず、天文に興味を持っていただけるようなイベントを企画・開催して、どんどん川越天文同好会を盛り上げていきたい。
- ・電子観望を中心に、みんなで画面を共有しながら楽しめる観測をしたい。

4) 活動分野 (複数可)

天体観測

電子観望

5) 主な使用器材 (パソコン機種も)

Sky-Watcher AZ-GTe

Advanced GT 赤道儀

ZWO ASI 462MC 天体用カメラ

6) 主な使用 OS

Windows 10

7) 主な使用アプリ

Stellarium

SynScanPro

ASI Studio

ステラショット

N.I.N.A

8) その他

他にはない、川越天文同好会だからこそその魅力を作っていきたいです！

- 1) 氏名 **佐藤 祐輔** 天文歴 2年
- 2) 40周年の感想  
40周年おめでとうございます！  
今後川天の発展・成長を楽しみにしています。
- 3) 今後やりたい事  
月・惑星の拡大撮影  
電波望遠鏡の制作
- 4) 活動分野（複数可）  
興味を持ったことに挑戦する♪
- 5) 主な使用器材（パソコン機種も）  
Vixen ED80ef / VMC200L / VMC95L  
Celestron C8  
GP 赤道儀（Onstep化）  
Canon EOS50D / kissX5（改造済み） / EOS M2  
レンズ（18mm 50mm 200mm 300mm）  
ZWO ASI 120mc 120mm  
自作PC  
ラズベリーパイ 4
- 6) 主な使用OS  
Windows11/ 10  
Linux AstRPi6(T-studio)
- 7) 主な使用アプリ  
(制御)  
KStars.Ekos  
PHD2  
(加工)  
Photoshop  
Registax6  
SiriL(スタッキング処理)  
Image Composite Editor (かぶり補正)
- 8) その他

- 1) 氏名 **持田 文夫** 天文歴 25年
- 2) 40周年の感想  
40周年おめでとうございます。これから50年と活動できるようにしましょう。
- 3) 今後やりたい事  
電子観望
- 4) 活動分野（複数可）  
天体撮影
- 5) 主な使用器材（パソコン機種も）  
望遠鏡 タカハシ SFQ106ED  
笠井 GS200RC  
セレストロン C8  
赤道儀 ケンコーEQ6  
カメラ キヤノン 60D（改造）

キャノン 6D  
ASI294MCpr  
ガイドカメラ ロードスター X2  
QHY51  
パソコン デル x p s  
h p ノート p c

6) 主な使用 OS

Windows10

7) 主な使用アプリ

ステライメージ7

Photoshop cc

ステラショット

8) その他

今後ともよろしく願いいたします。

☆☆☆☆☆☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆☆☆☆☆☆

今年も新年早々に予想外の出来事が連発して、その対応にあたふたしている内に記録的な暑さの夏となり、すっかり体調を崩してしまった。

日頃定期通院している病院の都合良く開いていた耳鼻咽喉科に飛び込み、診断の結果は咽頭炎との事でクーラーの入り過ぎによる季節外れの風邪を引いてしまったようだ。抗生物質を処方されて常用している薬と合わせ、10種類もの錠剤を飲むことになってしまった。

数日で声が出るようになり1週間で完治。。。と思ったら、今度は咳が止まらないので寝られん事態となって再びいつもの内科へ行くと、肺炎の疑いとかでレントゲン、翌月にはCT検査となり、それまで疑われていた肺癌の検査もそこそこに要再診患者となりました。

結局、呼吸器系統が弱っていたのではないかと結論付けられてしまい、暫くの安静だそうです。その後は回復基調となりましたが咳が止まったのは約2ヶ月後で、かなり医療費の負担も増えたのでした。

。。。まあ、新型コロナウイルスでもインフルエンザでもなく、一安心ではありましたが2度と御免の今夏の異常気象でした。マタ、道産子にはとってはきつきつい夏でもありました。

さて、今回の『小江戸の星』No.83ですが、川越天文同好会創立40周年を記念してかなりの内容を増量しました。

私の薬の増量に合わせた訳ではありませんが、記念となる内容を盛り込んだのでこの量です。

会員のアンケートを集計して何かグラフでも。。。と思っておりましたが、とてもそこ迄の体力の保証は無く、回答されたままを収録としましたが、項目を拾って解釈して頂けると嬉しいです。

また、寄稿された原稿は出来るだけ元の文体を残すようにしましたが、希望に添えなかった点はご容赦下さい。

(^o^) コメント